

# 神道夢想流 日本杖道会会報

第21号

平成18年12月20日

編集・発行

日本杖道会

## 平成十八年度

### 下半期の行事を終えて

時流に迅速にして平成十八年の年末を迎えました。当会の行事は一月七日明治神宮奉納杖道会に始まり、十二月九日筑波山神社で幕を閉じました。下半期の主な行事は左記の通りでした。

九月二日

神道夢想流杖道 流祖祭

九月三日

第50回全国杖道大会

九月四日

宝満山上宮奉納演武並びに

杖道開眼の窟「普池の窟」へ参拝

十一月一日～六日

杖道合宿研修会

十一月二日は鹿島神宮奉納演武

第20回杖道親善演武会(神武殿)

十一月二十三日

第11回関東甲信越居合道大会

十二月九日

筑波山神社奉納杖道大会



## 第50回 全国杖道大会 神道夢想流杖道 流祖祭

主催 神道夢想流杖道振興会

会長 神之田 常盛

後援 太宰府市、太宰府教育委員会、

太宰府天満宮、福岡県剣道連盟、西日本

新聞社

八月四日、太宰府三笠の国士館大学福祉専門学  
校体育館に於いて、全国から三百名の選手が出場  
し、日頃研修の技を競い合った。この大会は流祖  
神敬崇も兼ねて隔年毎に開催されている。

神道夢想流杖道の発祥の地は宝満山と云われ、  
麓の竈門神社の境内に夢想権之助神社があり、流  
祖祭も行われた。併せて九月四日は恒例の上宮登  
山を行い、三泊四日の意義ある日程の催しであっ  
た。

上宮における奉納演武、登山記録などについて  
多くの参加者より投稿されており、とりあえず、  
加藤一男氏、渡邊元雄氏、住田克己氏の記事を掲  
載しました。

### 宝満山の旅

渡邊 元雄

去る九月二日、八時集合と約束し拙者、朝一番  
の特急で上京、集合時間には十分余裕を持って羽  
田空港へ着き、蔵脩館の皆様と合流、空路福岡空  
港に到着した。

先代の会長、乙藤市蔵師範への墓参。墓の所在  
はビル街の中にあり、お寺の本堂は火災で焼却し  
たままで廃虚のように見えた。

近くにはビルが乱立し、どんどん変わる環境に

耐えることが出来ない場所となっているように感  
じられた。墓参を済ませ太宰府駅へ、駅前で昼食  
をとり、午後三時から流祖祭。

竈門神社宮司による祭事、引続き奉納演武、参  
会者約二百名と共に厳肅に演武が行われ盛会な流  
祖祭であった。

午後六時より国民宿舎に於いて、神道夢想流振  
興会の総会を兼ねた懇親会、神之田会長の挨拶に  
始まり、招待者の祝辞、とりわけ太宰府天満宮西  
高辻宮司の杖道精神について六徳を述べられた。

仁徳、義徳、礼徳、智徳、勇徳の修行により、現  
代の荒廃した日本人の人間形成にご尽力を頂きま  
すようとの高説であった。

九月四日、宝満山に登行。九百数十段の山とし  
ては起状が多く、杖道歴二十七年の修行の中で歴  
史的一頁として、生涯の思い出に残る出来事であ  
った。

それは宝満上宮での奉納演武、杖道開祖夢想権  
之助が開眼したと云う霊場「普池の窟」へ赴いた  
ことである。

洞窟は自然が作り上げた岩肌一枚が、洞窟を横  
に塞ぎ込んだ姿で人間が修験の場として、特に杖  
道発祥の地に相応しい霊峰であった。その厳肅た  
る神聖な場所に於いて、西村輝夫氏は一心流鎮鎌  
の免許、加藤一男氏と私は神道夢想流杖道の免許  
を授与された。

このことは継続修行二十七年の証であり、当  
家の家宝となった。杖道発祥の聖地太宰府天満宮、  
宝満山登山旅行は、私にとって極めて意義深い思  
い出であった。

